



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が1月30日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、2月7日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。フランス本社は、2011年5月6日付でサノフィ・アベンティスからサノフィに社名変更しました。

サノフィ、5つの顧みられない熱帯病の撲滅・管理をコミット

- ビル&メリンダ・ゲイツ財団、エーザイと共に、2020年にリンパ系フィラリア症の撲滅を目指す世界保健機関(WHO)のグローバルプログラム支援を発表
- 2020年までに睡眠病の撲滅をWHOに約束
- 「顧みられない熱帯病の撲滅に向けた共闘」パートナーシップの中心的な取り組みとしてコミット

フランス、パリー2012年1月30日ーサノフィ(EURONEXT:SAN および NYSE:SNY)は、本日、ビル&メリンダ・ゲイツ財団およびエーザイ株式会社と共に、世界保健機関(WHO)が進める2020年にリンパ系フィラリア症を撲滅するためのグローバルプログラムに参加し、さらに、睡眠病とも呼ばれるヒトアフリカトリパノソーマ症を2020年までに撲滅することを約束する新たなパートナーシップを発表しました。

サノフィ 最高経営責任者(CEO)のクリストファー・A・ヴィーバッハーは、「本日、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、エーザイ株式会社(エーザイ)、そして WHO との新たなパートナーシップを発表しました。このパートナーシップによる協力を通じて、睡眠病とリンパ系フィラリア症を撲滅し、そのほかの顧みられない熱帯病を効果的に管理することができると確信しています。当社は、患者さんの健康を守り、患者さんに希望をもたらすため、すべてのパートナーと協力し、ミッションに沿ってこれらの目標に取り組んでいきます」と述べています。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団、エーザイとの新たなパートナーシップは、2020年にリンパ系フィラリア症の撲滅を目指す WHO のグローバルプログラムに加わることとなります。このコンソーシアムは、これまでに類を見ない取り組みであり、2012年から2013年までに1億2,000万錠のDEC(ジエチルカルバマジン)を寄付し、WHOが3,000万人に治療を提供するのを支援します。その後、エーザイは、WHOとリンパ系フィラリア症撲滅プログラムを開始し、2020年までDECを無償で提供します。

サノフィと WHO の協力は、顧みられない熱帯病(睡眠病、リーシュマニア症、ブルーリ潰瘍、シャーガス病など)に対応するために2001年に開始されました。協力開始以来、17万人を超える患者さんが睡眠病の治療を受けました。睡眠病は、通常、治療しなければ死に至る病気であり、新規症例数は、2001年の3万件から2010年には7,200件にまで減少しました。

サノフィは、医薬品、研究開発、産業発展、および医療専門家と患者さんを対象とした情報・教育・コミュニケーションプログラムを4本の柱として、医薬品へのアクセスについて包括的な戦略を策定しています。顧みられない熱帯病(睡眠病、シャーガス病、ブルーリ潰瘍、リーシュマニア症、リンパ系フィラリア症)、流行病(マラリア、結核)、慢性病(てんかん、精神疾患)、およびワクチン(デング熱、狂犬病)の4つの疾病領域に重点的に取り組んでいます。

以上

サノフィ・アベンティス株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー

www.sanofi-aventis.co.jp

サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です



「顧みられない熱帯病の撲滅に向けた共闘」について

サノフィが発表した取り組みは、2020年までに顧みられない熱帯病(NTD) 10疾患を撲滅することを目指す幅広い官民パートナーによる新たな協調的活動の柱となっています。現在、製薬企業 13社、英米政府、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、世界銀行、そしてNTD流行国の政府高官が、これらの病気の撲滅に重点的に取り組み、NTDに罹患している世界10億人の生活改善に向けて協力することを約束しています。

同グループは、王立内科医協会で開催されたイベントの席で、NTD撲滅に向けた現在までの大規模な協調的取り組みとして、既存の医薬品寄付プログラムを拡張し2020年までの需要を満たすこと、新薬の研究開発を加速するために専門知識と化合物を共有すること、そして、研究開発活動を支援し、医薬品提供・実施プログラムを強化するために7億8,500万米ドル以上の資金提供を行うことを発表しました。また、パートナーらは、「顧みられない熱帯病に関するロンドン宣言」に署名し、新たなレベルの協力と進展の追跡・報告を誓いました。

新たなコミットメントとして、ギニア虫撲滅のための活動資金を全額提供すると共に、リンパ系フィラリア症・失明性トラコーマ・睡眠病・ハンセン病の撲滅、および土壌伝播蠕虫症・住血吸虫症・河川盲目症・シャーガス病・内臓リーシュマニア症の管理という2020年の目標に向けた取り組みを推進します。

ウェブサイト: <http://www.unitingtocombatntds.org/>

サノフィの医薬品へのアクセスについて

http://csrreporting.sanofi.com/web/patient/access_healthcare/commitment/policy_access_medicines

顧みられない熱帯病について

国際社会で「顧みられない病気」と見なされている熱帯病に関し、世界で10億人¹がそのリスクにさらされているか、またはそれらの病気に罹患しています。これらの病気は、遠隔の農村地域、都市部のスラム街、あるいは生活・衛生条件が悪い紛争地帯に多く見られます。これらの病気を撲滅・管理するためには、流行国を継続的に支援し、国際社会の意識向上を図ることが必須です。

リンパ系フィラリア症は、象皮症とも呼ばれ、世界81カ国の13億人以上に影響を及ぼしています。現在、1億2,000万人以上が感染しており、約4,000万人がこの病気によって外観が変化し、行動能力を失っています。リンパ系フィラリア症では、リンパ系が変化して身体の一部が異常に肥大化し、痛みと重度の障害が起ります。

ヒトアフリカトリパノソーマ症(または睡眠病)は、感染したGlossina(一般にはツェツェバエと呼ばれる)にかまれることによって感染する寄生虫病です。アフリカ僻地の農村地域に住む貧しい人々が主に罹患します。治療しなければ、ヒトアフリカトリパノソーマ症は一般に死に至ります。

リーシュマニア症は、寄生原虫によって引き起こされる病気で、感染したサンショウバエにかまれることによって感染します。肝臓と脾臓などに影響を及ぼす内臓型と、肌に影響を及ぼす皮膚型の2つの形態があります。年間160万人が新たにこの病気に罹患していると推定されます

¹ WHO 出典: 「Working to overcome the global impact of neglected tropical diseases」、顧みられない熱帯病に関する初のWHO報告書、2010年、2011年9月13日



シャーガス病は、クルーズ・トリパノソーマという寄生原虫によって引き起こされ、世界(主に中南米)で約1,000万人が罹患しています。慢性期では、患者の30%が心疾患を発症します。

ブルーリ潰瘍は、慢性の壊死性皮膚病であり、マイコバクテリウム・アルセランスに感染することで発症します。33カ国以上で報告されており、サハラ以南アフリカが主な発生地域となっています。早期診断と抗生物質での治療によって、治療に時間がかかり入院が必要となりうる大きな潰瘍の発生を抑制することができます。

サノフィについて

サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において7つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ワクチン、革新的新薬、希少疾患、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品です。サノフィはパリ(EURONEXT: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。